

四四〇九番

家人いへびとの 齋いはへにかあらむ 平たひらけく 舟出ふなではしぬ  
と 親おやに申まをさね

四四一〇番

み空そらゆ行く 雲くもも使つかひと 人ひとは言いへど 家いへづと遣やら  
む たづき知しらずも

四四一一番

家いへづとに 貝かひそ拾ひりへる 浜波はまなみは いやしくしくに  
高たかく寄よすれど

四四一二番

島陰しまかげに 我わが舟泊ふねはてて 告つげ遣やらむ 使つかひをなみ  
や 恋こひつつ行ゆかむ